令和7年度　森林環境譲与税の使途に関する事項の公表

京　都　府
福知山市

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第34条第３項の規定により、令和7年度の森林環境譲与税の使途に関する事項を公表します。

令和8年10月29日

1　活用状況（全体像）＜令和元年度から令和7年度まで＞

区　分	令和元年度～令和6年度	令和7年度	計	令和7年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	475,417,694	133,328,316	608,746,010	96%	○森林境界明確化を今後も計画的に進めていく必要があるため、当該事業費に活用する。 ○循環型森林ビジョン達成に向けて、対応すべき課題の中から優先順位を付けて森林環境譲与税を活用し施策展開を行う。
譲与額（円）	496,359,000	137,307,000	633,666,000		

2　令和7年度の具体的な活用状況　※詳細は別紙のとおり

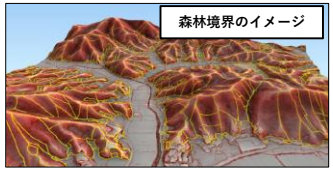
区　分	使途・目的	事業費（円） 総額	事業費（円） うち森林環境譲与税	事業の成果・効果
森林整備	森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の推進	109,891,706	109,776,554	○森林境界明確化2,220.54ha（森林簿面積）を実施し、森林経営管理制度及び施業の集約化の基盤整備を進めた。
	その他森林整備事業	15,024,270	14,762,762	○施業における重要なインフラである林道及び作業道について、地元要望に基づき延べ7路線において整備を行った。 ○森林経営計画に基づく間伐46.16haと、1,787.206m3の出材に対し奨励金を交付し、森林経営計画による効率的な施業と積極的な出材を推進した。
森林整備の促進	人材の育成及び確保	5,483,000	5,483,000	○林業の担い手の確保を目的として、令和4年度から自伐型林業を推進しているところであり、第一世代となる参入者の作業道開設の推進と、林業スキルの向上を図った。
	森林の有する公益的機能に関する普及啓発	0	0	
	木材利用の促進	0	0	
	その他森林整備の促進に関する事業	3,306,000	3,306,000	○循環型森林整備の推進に関する協定を締結した林業事業体に対し、高性能林業機械の修繕14件及びドローン・レーザー距離計の導入によるスマート化2件を支援し、林業事業体の生産基盤の維持・強化と作業の効率化・省力化を図った。
小計（令和6年度活用額計）＜①＞		133,704,976	133,328,316	
次年度への繰越額＜②＞			0	
基金積立＜③＞			3,978,684	
基金からの取り崩し＜④＞			0	
合計＜①＋②＋③－④＞ ※令和6年度の譲与総額と一致			137,307,000	

3　今後の実施計画

①森林境界明確化の実施　・　②福知山市循環型森林ビジョンの達成に向けて

○かつて自ら木を植え、手入れをされた方々も、高齢化や代替わりにより徐々に”山離れ”が進んだ結果、森林をどう管理していいか分からないという所有者が増える、森林境界の情報が失われる、相続登記等の手続きがなされず誰が所有者か分からない森林が増加する等、円滑な森林整備を阻む大きな障壁となっています。
○こうした状況を鑑み、本市では航空レーザ測量により取得した高精度な地形図・林相区分図（樹種を識別した図面）を元に、森林所有者や地元精通者からの情報、古地図や森林計画図、公図といった図面等を複合的に分析し、森林の境界を推定する『森林境界明確化』を、実に年間2,000ha前後に及ぶ広大な森林を対象に進めています。

○循環型森林整備とは、木を『伐って、使って、植えて、育てる』を繰り返し、森林資源を持続的に循環利用することです。木材価格の低迷や造林費用の負担が大きいことにより、特に”伐って”・”植えて”の部分が進まないことが国全体の課題となっています。本市においても、木の生長を促す間伐を中心とした森林整備が永らく行われてきました。将来に渡って、森林資源を適切に残していくには、『伐って』＝まとまった範囲の成熟した立木を伐採・収穫する『主伐』（皆伐）と、『植えて』＝新たに苗木を植栽する『再造林』を実施し、若い木を育てていく必要があります。
○こうした状況の中、市内の人工林において循環型森林整備を推進していくための方針として、『福知山市循環型森林ビジョン』を令和６年８月に策定しました。循環型森林ビジョンの達成に向けた10年後の到達目標として、次のとおり定めています。
[10年後（令和17年度）の到達目標]①　主伐・再造林35ha/年の達成　②　循環型森林整備を行うエリア350haの集約化　③　効率的,効果的な施業手法の確立





【別紙】

令和7年度事業の詳細

事業名	事業総額（円）	うち当森林環境譲与税（円）	うち他の財源（円）	事業内容	実　績
森林経営管理事業 (林業総務費　人件費の一部を含む)	109,891,706	109,776,554	115,152	○森林航空レーザ測量及び森林資源解析による高精度な森林情報をベースとして、森林計画図、公図、登記といった既存情報ならびに森林所有者が所有する境界情報を総合的に勘案し、森林境界を推定する森林境界明確化業務を実施する。	○森林境界明確化 2,220.54ha(森林簿面積)
循環型森林整備事業	3,306,000	3,306,000	0	○主伐・再造林を中心とした循環型森林整備推進について協定を締結した林業事業体に対し、高性能林業機械の導入や修繕、林業のスマート化等の取組を支援する。	○修繕：14件 ○スマート化：2件（ドローン、レーザー距離計）
間伐補助事業	10,027,860	10,027,860	0	○国庫補助金を活用し、森林経営計画に基づき行われる間伐に対し、上乗せ補助を実施 ○上記間伐のうち、搬困難区域からの出材に対し支援	○間伐面積:46.16ha ○搬出困難区域からの出材:1,787.206m3
林道施設等整備事業	4,996,410	4,734,902	261,508	○森林整備のインフラとなる林道及び作業道の基盤整備を実施	○林道・作業道補修 ７路線（L=4,591m、橋梁基礎１箇所）
林業の担い手支援事業	5,483,000	5,483,000	0	○本市の自伐型林業の第一世代となる現参入者のスキルアップに重点を置いた、実践形式のステップアップ研修及び林業経営に関する研修を実施 ○自伐型林業者の丈夫で崩れにくい作業道の開設・整備(補修)を支援	○公開研修　合計11日間 延べ参加人数93人 ○自伐型林業作業道 開設 1,506m
森林経営管理事業 森林環境譲与税基金積立金	3,978,684	3,978,684	0	○後年度以降の森林経営管理制度の取組等に有効活用するため、積立	